

(別添 4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 7 年 2 月 10 日記載)

施設開所して36年が経過している中、そして現施設(霧ヶ峰療護園から改名しすわ湖のほとり)に移転し6年が経過しようとしている今日、新たな出発をさせていただくために歩んできた今までをしっかりと振り返ればと第三者評価を受審しました。

また社会福祉そして福祉施設処遇のニーズも時代とともに変わりつつある中、支える職員(従事者)においても様々な経歴を土台として、ご利用者の生活の場である施設にて日々切磋琢磨して現在処遇にあたっています。

施設目標では『寄り添う』とした奥深い表現を示す通り、ご利用者の皆様から素直な想いを伝えていただけるよう進めるため、介護させていただく側の一方的な解釈にならぬようにしていくことが大切と感じています。介護技術が優れていようが、様々なより良いニーズの提案をしようが、基本は人と人との仕事。そして私たちはご利用者様の『生きざま』に立ち会わせていただいていることを胸に、利用者様の声と同士である職員の声を客観的に聞かせていただき、個と組織が融合した議論を重ねられるよう進めていきたいと考えています。

ご指摘いただきました点につきましては施設全体で更なる対応を図り努めていくところではありますが、何よりもご利用の皆様より逆に見守っていただいている私達、更に気遣ってくださっていることをしっかりと受け止め、組織の構築、また物事の報連相といった基本的な面を大事にして取り組んでいくことの大切さを感じています。

新型コロナといった感染症が、福祉の現場にも吹き荒れ大きな爪痕として残っているわけではありますが、施設内処遇も地域との関りも、これからは新たな時代と位置づけてご利用者の皆様とともに求められているニーズを受け止めながらお応えしていきたいと思えます。

事業所名 すわ湖のほとり

管理者名 飯田 裕